

# 県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



うっとりしい梅雨もあけ、炎暑の頃を迎えました。県民のみなさん、暑中お見舞申しあげます。

県政の当面する課題の一つであります行政改革の推進につきましては、御承知のとおり、昨年六月、県内民間有識者からなる行政改革審議会を設置し、ご審議をいただいておりますが、昨年十一月の第一次中間報告に続いて、去る六月四日に第二次の中間報告をいただきました。

今回の報告では、政策総合調整機能の強化、部・課の再編統合、出先機関の統廃合、職員定数の七パーセント削減等々新しい視点から多くの貴重なご提言をいただきました。

私としては、ご提言の趣旨をできるだけ尊重し、実行できるものは逐次実施していきたいと思っておりますし、一部はすでに、この七月から実施したところです。

行政改革は一時的なものではなく、行政の効率化、質の高い行政サービスを目指して、絶えず努力していかなければならない重要な課題と考えています。

いわゆる「地方の時代」といわれて久しくなりますが、私は、今日それは地域間の競争の時代であり、知恵比べの時代であるとよく申し上げます。財政事情が厳しい折だけに、地方自治体もコスト意識を持って効率的な行政を行い、地域がそれぞれの特性を活かし、活力と個性と潤いのある地域づくりに知恵を絞らなければならぬ時代だと思っています。

そういう意味で、私は、いわゆる「くまもと日本一づくり運動」を提唱しているわけです。

いよいよ本格的な夏に向かいます。暑さに負けず、健康な毎日をお過ごしください。

最後になりましたが、去る六月二十九日の五木村での山崩れによる大惨事を始め、集中豪雨で甚大な被害を受けられた方々に、心からお見舞い申し上げます。

県としましても、被災地の復旧に全力を尽くしたいと考えております。一日も早く立ち直られるようお祈りいたします。

## 県政トピックス

### 土光敏夫氏を招き 行革フォーラム

四月十日 二日県立劇場において、県内各地から二千人の参加者を集め、'84熊本行革フォーラムが開催された。フォーラムでは、土光会長による「今なぜ行革か」の講演にひきつづき、牛尾治朗氏、早志忠之県行革審会長等四氏によるパネルディスカッションが行われ、熱気に包まれた討議が行われた。



### 最新の設備を備えて 県工試電子機械分館落成

県工業試験場で、電子機械分館が完成、五月八日落成式が行われた。メカトロニクス製品等の研究開発のための各種の研究実験室、スーパーミニコンピュータや、コンピュータによるCAD/CAM（設計製造）システムなどを完備し、地場企業の技術指導強化を図る。



### '84くまもと住宅祭開催

'84くまもと住宅祭が、熊本市下通りで五月十八日から二十二日まで開催された。

マイホーム、設備機器、インテリア、エクステリアなど、それぞれのコーナーで住まいづくりに関する展示及び、無料相談などが行われた。



### くまもとの文化、また一つ誕生 県立図書館が着工

県立図書館の移転起工式が、四月二十一日水前寺江津湖公園の一角で行われた。

新図書館は、収蔵能力百万冊の規模で、コンピュータによる情報検索システム導入など最新設備を備える。

また、熊本ゆかりの文芸資料を保存、展示する熊本近代文学館も併設される。



### 県民と、テクノコミュニケーション 事務所開設

テクノポリス計画の推進母体となる熊本テクノポリス財団の事務所とテクノコミュニケーションプラザが六月一日、県庁通りの第百生命ビル一階にオープンした。

財団では、テクノフォーラムの開催やベンチャー企業に対する金融面での支援を行うほか電脳研の建設に力がかかる。

また、情報検索機器を備え、技術情報を提供するとともに、OA機器を常設展示し、OA化の相談にも応じていく。



### もっとおいしく、お求めやすく。 農産物品質向上・コスト低下 優良団体表彰

農産物の品質向上、コスト低下に尽力した優良実践団体の表彰式が、四月二十五日県庁地下会議室で行われた。米麦、果樹、食肉などの部門で、優秀賞十六団体、躍進賞十五団体が表彰を受けた。



### よりよい環境を求めて。 第十二回環境週間

六月五日から十一日までの一週間は、環境週間である。この期間中の六月十日を「環境美化行動の日」として、県下では一斉にクリーン大作戦が行われた。

なお、熊本市の江津湖周辺では、知事、熊本市長も参加して清掃奉仕が行われた。

